

「TAKARABUNE 10：出入口」開催要項

1 展覧会名：TAKARABUNE 10：出入口

2 会期：2026年3月18日(水)～22日(日) 各日とも10時～17時30分(ただし最終日は15時まで)

3 会場：埼玉県立近代美術館 一般展示室 1 (さいたま市浦和区常盤9-30-1)



4 主催：SMF (サイタマミューズフォーラム) *活動記録は<https://www.artplatform.jp>参照

5 観覧料：無料

6 趣旨：

SMF (サイタマミューズフォーラム) は、2008年から2017年まで埼玉県立近代美術館が文化庁の支援を得て、実行委員会形式で行ってきた事業から生まれました。この事業は埼玉県内の5つのアート系公立ミュージアムが連携し、それぞれの館や周辺地域を含む県内各地で、館内での展示や上演にとどまらず、公園や商店街でのアートプログラム、アート散歩やアートマップ作りなど、多彩なアウトリーチプログラムを含めて、アートでまちとひとをつなぐプロジェクトでした。

この事業の実働部隊となったのがSMFです。SMFは美術、音楽、ダンス、建築、文学など、様々な分野のメンバーが集い交流する自由な集まりであり、身近な場所でアートを楽しみ、支援し、再創造するためのプロジェクトもあります。だれもが参加でき協働で運営されるTAKARABUNEは、アートのプラットフォームをめざすSMFを象徴する企画のひとつで、それぞれのアートの夢を共有し育む場であり、ジャンルや既存の概念に囚われず、各自が新たな地平を拓く実験の場でもあります。

2015年に宝船展として始まったTAKARABUNE はこのたび10回目を迎えます。タイトルの「出入口」とは、さまざまな方々が往来するプラットフォームであり、ハッチを開けて未知の世界へと降り立つ航海士であり、自在に時空を超えるドラえもんのポケットかも知れません。多士済々のみなさんが今回は出入口の謎に挑みます。こうした企画を通じてアートに親しむ人たちの交流が豊かになり、稔り豊かな連携が構築出来ると考えています。みなさまのご来場をお待ちしております。

7 出展者：本展の趣旨にご賛同いただける方なら、ジャンル、経験を問わばどなたでも参加できます。

8 出展内容：実現させたいアートの夢、アートプロジェクトの素となる「夢のシート」や実践したプロジェクトの「報告シート」、作品を通して夢を追求する「作品シート」など、出展者の現在地を示す「エントリーシート」の展示に加えて、関連する作品やインスタレーション、プロジェクト記録、パフォーマンスなど、多彩な出展構成を想定しています。

9 関連事業：アーティストトーク、ワークショップ、制作実演、パフォーマンス等を開催し、出展者と来場者、出展者相互のコミュニケーション・交流を図り、プロジェクトの発芽を促す一助とします。

10 記録集：本展終了後、各出展者の出展記録をA4判2ページにまとめていただき、記録集を作成、印刷版を出展者・関係者を中心に限定配布するとともに、Web上で広く公開します。

11 問合せ：メール takarabune2026.info@artplatform.jp (三浦・中村)
TEL 090-6138-4821 (三浦)、090-2143-5243 (中村) / FAX: 048-885-7859 (三浦)